

候補地評価基準における評価基準の区分の表記方法の見直しについて

1 第3回委員会での指摘内容

現在評価基準に使用している「優・良・可」の区分は漢字表記であり、それぞれが意味をもつ文字であることから、意味を持たない表現方法がよいのではないかと指摘されています。

2 他自治体の事例

調査した評価基準の区分の表記方法の事例では、次の4つの区分が用いられています。

自治体名	評価基準の区分の表記方法
A市	記号による区分の表記 ◎ (5点)、○ (3点)、△ (1点)、× (失格)
B組合	配点による区分の表記 5点、3点、1点 or 3点、2点、1点
C組合	アルファベットによる区分の表記 A (1.0倍)、B (0.5倍)、C (0.1倍)
D市	記号による区分の表記 ◎ (4点)、○ (3点)、□ (2点)、△ (1点)
E組合	アルファベットによる区分の表記 A (5点)、B (3点)、C (1点)
F組合	アルファベットによる区分の表記 A (3点)、B (2点)、C (1点)
G市	数字による区分の表記 3 (配点÷3 択×3)、2 (配点÷3 択×2)、1 (配点÷3 択×1)
H組合	アルファベットによる区分の表記 A (1.0倍)、B (0.5倍)、C (0倍)
I市	配点による区分の表記 5点、3点、1点 or 5点、1点
J組合	アルファベットによる区分の表記 A (3点)、B (2点)、C (1点)

● 結果

評価基準の区分の表記方法	件数
アルファベットによる区分の表記 (A、B、C)	5
記号による区分の表記 (◎、○、△、□、×)	2
配点による区分の表記 (5点、3点、1点)	2
数字による区分の表記 (3、2、1)	1
計	10

### 3 検討（案）

前述の他自治体事例から、使用自治体数の多い3つの区分について、次のとおり検討（案）を提案します。

※ 以下に示す案①から③について、適切と思われるものを選定いただき、別紙「回答票」に記載の提案番号に○をご記入ください。

検討（案）		特徴・表記
案①	アルファベットによる区分の表記	[特徴] <ul style="list-style-type: none"> <li>・見目で判断しにくい。</li> <li>・アルファベットだけでは、評価の優劣が理解できない。 （どのアルファベットが優位かは不明）</li> <li>・アルファベットと配点の定義付けを行ったうえで用いることが重要。</li> </ul>
		[表記] A（5点）、B（3点）、C（1点）
案②	記号による区分の表記	[特徴] <ul style="list-style-type: none"> <li>・見目で判断しやすい。</li> <li>・記号だけで、評価の優劣が理解できる。</li> <li>・評価にどの記号を使用するかによって、捉え方（印象）が異なる。</li> </ul>
		[表記] ◎（5点）、○（3点）、△（1点）
案③	配点による区分の表記	[特徴] <ul style="list-style-type: none"> <li>・見目で判断しやすい。</li> <li>・配点だけで、評価の優劣が理解できる。</li> <li>・評価と配点が一致しているため、表記と評価に疑義は生じない。</li> </ul>
		[表記] 5点、3点、1点